

授業科目(ナンバリング)	精神医学と精神医療Ⅱ (DB204)			担当教員	丸山 貴志		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>ディプロマ・ポリシーを踏まえ、精神科ソーシャルワークにとって必要な精神医学と精神医療に関する専門的な知識と技術を修得することを目標とし、下記に記した項目についての理解を深める。</p> <p>① 精神疾患の分類を把握するとともに、主な疾患の症状、経過、治療方法などについて理解する。</p> <p>② 精神医療と人権擁護の歴史を学ぶとともに、精神保健福祉法における精神科病院の入院形態や医療観察法について理解し、その中での精神保健福祉士の役割と法制度の課題を理解する。</p> <p>③ 精神科病院等においてチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を理解する。</p> <p>④ 早期介入、再発予防や地域生活の支援等における地域の多職種連携・多機関連携における精神保健福祉士の役割について理解する。</p>							①④⑤⑥⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	疾患の診断を類別できる。社会や集団に適応できるかを指摘できる。				定期試験	60%	
情報収集、分析力	心の病や心の悩みを説明できる。内因性か心因性かを関係づけることができる。 チーム医療を担う専門職として精神科専門知識を使用できる。				授業態度	20%	
コミュニケーション力	疾患や障害に関する課題についてディスカッションし意見を述べる ことができる。				議論、発表	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	精神保健福祉士国家試験に対応できる力をつける。				小テスト	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験(60%) (教科書等持ち込み不可、詳細は授業中に指示するが、必要とされる基礎的知識や概念が理解できたかを確認)、小テスト(10%) (精神保健福祉士国家試験過去問を授業中に配布)、授業への取り組み(30%)によって評価する。授業終了時にリアクションペーパーを配布し意見を書いてもらい(出欠確認に使うこともある)、ポートフォリオや次回授業の冒頭に口頭によってフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>教科書に則って系統的に講義を行う。精神疾患の治療と精神科医療における人権擁護を中心とした様々な制度と精神保健福祉士の役割や重要性について学ぶ。症例(事例)検討やグループでの議論や発表、あるいは自主学習(PBL; Problem Based Learning)なども行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「精神医学と精神医療」中央法規 参考書：とくに指定しない。 指定図書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「精神医学と精神医療」中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>予習・復習を心がけ、授業に積極的に取り組んでほしい。精神医学と精神医療Ⅰを履修していることが望ましい。精神保健福祉士国家試験に対応できる力をつける。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明をする 前期（精神医学と精神医療Ⅰ）の復習をする	予習：精神医学と精神医療Ⅰの復習 復習：配布資料を読む
2	精神疾患の治療（1）	薬物療法について学ぶ	予習：教科書第3章第1節第2節を読む
3	精神疾患の治療（2）	精神療法、作業療法について学ぶ	予習：教科書第3章第3節を読む
4	精神疾患の治療（3）	脳刺激法について学ぶ	予習：教科書第3章第4節を読む。復習：電気けいれん療法についてまとめる
5	精神疾患の治療（4）	地域精神医療、精神科リハビリテーションについて学ぶ	予習：教科書第3章第5節を読む
6	精神科医療機関における治療 （1）入院治療と人権擁護①	入院治療の歴史について学ぶ 精神保健福祉法における入院形態について学ぶ	予習：教科書第4章第2節を読む。復習：法律の変遷をまとめる
7	精神科医療機関における治療 （2）入院治療と人権擁護②	インフォームド・コンセントについて学ぶ 医療保護入院における退院促進について学ぶ	予習：教科書第4章第2節を読む。復習：入院形態についてまとめる
8	精神科医療機関における治療 （3）入院治療と人権擁護③	精神科病院における処遇について学ぶ 行動制限最小化、そのほか処遇改善にかかる制度について学ぶ	予習：教科書第4章第2節を読む。復習：行動制限についてまとめる
9	精神科医療機関における治療 （4）外来治療、在宅医療	外来、訪問診療、訪問看護について学ぶ	予習：教科書第4章第1節第5節を読む。
10	精神科医療機関における治療 （5）医療観察法における入院・通院治療	指定入院医療機関、指定通院医療機関、医療観察病棟における治療、介入について学ぶ	予習：教科書第4章第3節を読む。
11	精神科医療機関における治療 （6）精神科医療機関における精神保健福祉士の役割	精神科医療におけるソーシャルワークについて学ぶ 退院支援、多職種連携について学ぶ	予習：教科書第4章第4節を読む。復習：精神保健福祉士の重要性をまとめる
12	精神科医療機関における治療 （7）精神保健福祉士と協働する職種	精神医療に関わる専門職について学ぶ	予習：教科書第4章第5節を読む。復習：自分の意見をまとめる
13	精神医療と保健、福祉の連携の重要性（1）治療導入に向けた支援	精神医療に関わる専門機関の役割と早期介入の重要性について学ぶ 精神科救急医療システム、認知症初期集中システムについて学ぶ	予習：教科書第5章第1節を読む。復習：システムの利点を考える
14	精神医療と保健、福祉の連携の重要性（2）再発予防や地域生活に向けた支援	服薬自己管理システムや地域包括ケアシステムについて学ぶ 地域生活を支える他機関の役割について学ぶ	予習：教科書第5章第2節を読む。復習：連携の重要性について考える
15	まとめ	小テスト これまでの授業のまとめをする	定期試験の準備
16	定期試験	教科書、配布資料の中から出題する	